

機材購入審査会の組織化と戦略的購買体制の構築について

青木 大介

(社会医療法人財団石心会川崎幸病院
事務部長補佐特命担当 兼 資材課 課長)

医療経営士2級
認定登録番号：
21410216010039

【目的】

川崎幸病院では、開設から12年が経過し、大型医療機器の一斉更新期を迎える状況に直面しました。従来の材料検討委員会は医療材料のコスト削減を中心に活動していましたが、こうした大規模な設備の更新には十分に対応できないという課題がありました。そこで私は、戦略的に購入を判断する仕組みが必要であると考え、材料検討委員会を再編し、新たに「機材購入審査会」を組織することを提案しました。本取り組みの目的は、医療機器・設備更新の意思決定を合理化し、限られた予算を最大限に活用できる体制を整備することにあります。

【実施方法】

機材購入審査会は院長の諮問機関として位置付けられ、機器購入の妥当性を検証し、優先順位を明確にする役割を担いました。各部署からの要望を病院全体の予算と照合し、導入効果や必要性を比較検討することで、投資の方向性を可視化する仕組みを導入しました。さらに、従来は約16週間を要していた審査プロセスを見直し、事前準備と集中審査方式を採用することで、16件の案件を2日間で審査完了できる効率的な体制を構築しました。

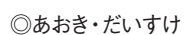
【実施期間】

2025年2月～現在

【考察・結果】

本取り組みによって、審査の効率化が向上し病院全体で合理的かつ戦略的な資源配分が可能となりました。

した。また、各部門が自ら必要性を根拠立てて説明する文化が根付き、職員に病院経営への参画意識が広がりました。当初は私の提案から始まりましたが、その後、審査会メンバーとの協議を通じて仕組みが洗練され、より効果的で実効性の高い取り組みへと発展しました。その結果、本取り組みは単なる購入審査を超えて、病院全体の資源配分を戦略的に再設計し、持続可能な経営基盤を職員とともに形成する仕組みとなりました。



2006 年、大船中央病院に入職。資材課・総務課・経理部を兼務した後、健康管理センターへ異動。院内の各種プロジェクト推進も担当。2024 年より社会医療法人財団石心会川崎幸病院に勤務し、2025 年4月より現職。